

東京災害ボランティアネットワーク

2005年度事業報告

はじめに—

2005年度の東京災害ボランティアネットワーク（以下：東災ボ）は、三宅島帰島支援ボランティア活動—第一期支援プログラム—の最中から始まりました。2005年2月1日に全島避難解除となると同時に、三宅島災害・東京ボランティア支援センターの一員として、東災ボは、参加団体だけでなく、三宅村、東京都、そして関係機関の方々、企業の方々と協働でこの事業の遂行に努めてきました。その活動は、東災ボの理念である「顔の見える関係」を具現化した活動となると同時に、東災ボの被災地支援におけるスタイルの確立にもつながったと感じられるものとなりました。

帰島支援活動は8月23日、島民の方々に見送られながら無事に遂行することができましたが、その後、三宅島災害・東京ボランティア支援センターは、復興期にある三宅島において、特に高齢者・障害をお持ちの方々を対象とした復興支援活動—第二期支援プログラム—として、「みやげじまく風の家」を設置し、引き続き被災地三宅島の支援を続けています。

一方、東京においては、これまで被災地で東災ボが培ってきた知識や智恵、技術やテクニックはもとより、東災ボの小さな「気づき」を多くの市民の方々にお伝えする場も増えてきました。それは、日本だけではなく、世界的に自然災害の発生が相次いだことによって、多くの市民が災害を意識するようになったことが挙げられます。

2005年7月23日に発生した東京都足立区を震源とした震度5の地震は、一部の鉄道が麻痺したこともあり、都市特有の災害課題である「帰宅困難者課題」を多くの市民に知らしめることとなりました。それに伴い、東災ボが実施した8月28日の「帰宅困難者対応訓練」は例年にないほど注目される訓練となりました。

また、東災ボがおこなう地域防災向上プログラムの対象者も、住民組織や市民団体、行政や社会福祉協議会、そして企業の方々と、多方面にわたるようになりました。特に、行政や社会福祉協議会からは、講演会プログラムだけではなく、連続講座や訓練プログラムの実施を委託されるケースも増えています。

それらの期待に応えるため、昨年度総会で議決されたNPO法人格取得の準備にも着手しました。事務局会議内で再三議論をし、さらに、NPO設立検討委員会を設け、その役割や理念を再確認し、事業のあり方、方向性を協議してきました。

2005年度の東災ボは、三宅島支援と地域防災力の向上という具体的な活動を遂行しながら、自身の社会的責任と役割を見つめ直す活動を展開してきました。

三宅島帰島支援第一期プログラムの遂行と 第二期プログラムの提案、および遂行

■三宅島帰島支援事業—第一期プログラム—の遂行に取り組みました

2005年2月1日からはじまった三宅島帰島支援事業は、東災ボ参加団体を中心に数多くの団体が参加・協力する事業となりました。

今回の帰島支援事業は、ボランティアの団体からの派遣制度や被災地外での事前研修、活動を支える資金調達の方法、自治体や村行政との連携など、これまでの被災地支援の経験から多くのことを活かしながらの事業となりました。

また、この三宅島帰島支援事業は、東災ボと行政や各種団体とをつなげる事業にもなりました。三宅島支援という具体的な課題を通し、多くの団体・組織・個人が東災ボの理念である「顔の見える関係」を理解し、それに賛同してくださるようになりました。

三宅島支援活動の詳細については、別添資料「三宅島帰島支援ボランティア活動事業報告書—三宅島災害・東京ボランティア支援センター発行—」をご参照ください

■三宅島復興支援事業—第二期プログラム—の提案及び遂行に取り組みました

2005年10月5日に開設した「みやけじま<風の家>」。「仲良し」と「支えあい」をキーワードに、被災した離島という厳しい環境の中で、島民同士がみんな「仲良く」、お互いに「支えあえる」、ひとにやさしい家です。

東災ボは三宅島災害・東京ボランティア支援センターの主要構成団体として、主体的にこの「みやけじま<風の家>」の開設支援及び運営支援を担いました。

「みやけじま<風の家>」の詳細については、別添資料「みやけじま<風の家>」パンフレットをご参照ください

■島民向け生活情報 FAX ニュース『みやけの風』の配信支援に取り組みました

三宅島災害・東京ボランティア支援センターの事業である、島民向け生活情報 FAX ニュース「みやけの風」の配信支援として、ニュースレターレイアウト、情報提供などをおこないました。なお、2005年度は217号から256号まで39回の情報発信をするにいたしました。

■島民コールボランティアによる声かけ『みやけふれあいコール』など、各地域での島民の自主活動や生活支援プログラムへの協力支援に取り組みました

三宅島災害・東京ボランティア支援センターの事業を通すなどして、避難されている各地域において、東災ボ参加団体の特徴や地域性を活かした支援の取り組みが広がりました。

東海地震／首都圏直下型地震への備え

■人材育成プロジェクト

人材育成プロジェクトは、「中野区 2 地区における住民参加の防災ワークショップ」と「日立製作所社会貢献部 防災ボランティア研修」の 2 つの委託事業をもって実施しました。

人材育成プロジェクトでは、ワークショップ・訓練・研修の対象者が育成されるだけでなく、それを協働で実施していく団体・個人の育成にもつながるプロジェクトとなりました。

◆中野区 2 地区における住民参加の防災ワークショップ／避難所開設・運営訓練

中野区内の 2 地区において、住民参加のワークショップ型防災講習として、避難所開設・運営図上シミュレーション訓練を実施しました。

開催日程：2006 年 2 月 11 日(土) 12:00～16:00 塔山小学校
2006 年 2 月 12 日(日) 12:00～16:00 沼袋小学校

◆日立製作所社会貢献部 防災ボランティア研修

日立製作所横浜支社において、従業員およびその家族を対象とした防災ボランティア研修—被災体験イメージトレーニング・応急救護体験・防災まち歩き—を実施しました。

開催日時：2005 年 11 月 22 日(火) 18:00～21:00 日立製作所横浜支社
2005 年 11 月 26 日(土) 09:00～17:00 日立製作所横浜支社

◆コープ災害ボランティアリーダー養成講座

東災ボ参加団体である東京都生協連が事務局を務める「コープ災害ボランティアリーダー養成講座」では、東京都生協連加盟生協の職員および組合員の方を対象とした講座—被災シミュレーション演習・防災まち歩き・災害ボランティア講演・防災寸劇—を実施しました。

開催日時：2005 年 12 月 03 日(土) 13:00～17:00 東京都生協連
2006 年 02 月 18 日(土) 10:00～17:00 東京都生協連
2006 年 03 月 04 日(土) 10:00～17:00 東京都生協連

■ボランティア活動団体の広域的・地域的連携の強化

「東海地震想定・静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」へ企画提案、講師派遣、および参加をして、広域的連携の強化を図りました。

◆東海地震想定・静岡県内外の災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練

日時：2006年2月25日（土）11:30～16:00

会場：静岡市立城内中学校・体育館

■地域防災力向上に向けた取り組み

地域内・団体(企業含む)内の防災力向上に向けた各種訓練・講座プログラムを実施しました。講演会への講師派遣の他、「防災まち歩き」や「災害時シミュレーション演習」などのプログラム提供も積極的に実施しました。

◆主な講師派遣先・プログラム提供先

講師派遣：38件、プログラム提供(講師派遣含む)：21件

2005

04.02	NTT 東日本新人研修	プログラム提供
05.14	杉並区勤労福祉協会	講師派遣
05.20	小平ボランティアセンター	講師派遣
05.28	連合千葉ボランティアサポートチーム研修	講師派遣
06.05	群馬県赤城山青年の家	講師派遣
07.04	立教大学 21世紀デザイン学科	講師派遣
08.07	浅草カトリック教会	講師派遣
08.08	秋田県宝昌寺	プログラム提供
08.22	三重県教職員組合研修	講師派遣
09.04	櫛ヶ浜防災の日	プログラム提供
09.07	横浜市南区ボランティアセンター	プログラム提供
09.26	連合三多摩	講師派遣
09.29	埼玉県労働者福祉協議会	講師派遣
10.01	国分寺ボランティアセンター	プログラム提供
10.07	清泉女子大学	講師派遣
10.07	千代田高齢者センター	講師派遣
10.15	自治労東京	講師派遣
10.15	連合東京 VST 研修	プログラム提供
10.25	九州電力	講師派遣
10.28	千葉県災害対策コーディネーター	講師派遣
10.31	社会事業大学社会専門職大学院	講師派遣
11.05	西原町会	プログラム提供

11.05	連合三多摩	プログラム提供
11.06	ピアネット北	講師派遣
11.09	リコー	講師派遣
11.07	全労済東京都本部	プログラム提供
11.20	稲城市ボランティアセンター	講師派遣
11.21	嘉悦大学	講師派遣
11.28	DRI	講師派遣
12.02	ちよだボランティアセンター	講師派遣
12.10	ちよだボランティアセンター	プログラム提供
12.11	神奈川県	プログラム提供
12.16	パスコ	講師派遣
12.19	都立大学附属高校	講師派遣

2006

01.03	三宅村	講師派遣
01.14	大田区	講師派遣
01.22	神奈川県	プログラム提供
01.24	千葉県	講師派遣
01.24	連合東京東部地協	講師派遣
01.25	横浜市瀬谷区	講師派遣
01.25	荒川区社会福祉協議会	講師派遣
01.29	神奈川県	プログラム提供
02.02	小平市ボランティアセンター	講師派遣
02.04	台東区ボランティアセンター	講師派遣
02.05	調布市ボランティアセンター	プログラム提供
02.08	荒川区社会福祉協議会	講師派遣
02.10	ボランティアフォーラム	プログラム提供
02.11	ボランティアフォーラム	プログラム提供
02.18	台東区ボランティアセンター	講師派遣
02.19	かつしかボランティアセンター	講師派遣
02.19	神奈川県	プログラム提供
02.26	市民活動センターたちかわ	プログラム提供
03.05	みたかボランティアセンター	プログラム提供
03.09	TVAC	講師派遣
03.10	足立区社会福祉協議会	プログラム提供
03.11	市民活動センターたちかわ	プログラム提供

03.12	みたかボランティアセンター	講師派遣
03.14	ちよだボランティアセンター	講師派遣
03.27	TEPCO ボランティアセンター	講師派遣

◆防災士研修講座の講師引き受けました

日本防災士機構が実施している防災士研修講座の中で、「災害とボランティア活動」の科目を担当し、関東地区の会場を中心に 2005 年度は 10 回の講師派遣を実施しました。

◆行政機関・防災関係機関等の専門委員会へ委員派遣を実施してきました

- ・ 柏市「柏市災害時要援護者支援検討協議会」議長派遣：上原泰男
- ・ 全国社会福祉協議会「災害ボランティアセンターコーディネーター研修プログラム開発委員会」委員派遣：上原泰男
- ・ 内閣府「防災ボランティア活動検討会」委員派遣：上原泰男／福田信章
- ・ 人と防災未来センター「ボランティアコーディネーターコース企画委員」委員派遣：福田信章

運営体制の強化

■NPO 法人の取得

東災ボに対する社会的信頼と期待に応え、責任ある事業者への発展を目指すため、NPO 法人格の取得を目指しました。

事務局会議・運営委員会等で取得時期、取得に際しての確認などを繰り返し議論し、NPO 設立検討部会を 2006 年 3 月 20 日に東京都生協連で開催し(4 月 10 日に第二回、5 月 8 日に第三回検討部会開催)、2006 年度東京災害ボランティアネットワーク総会中で、NPO 法人東京災害ボランティアネットワーク設立総会を開催する方向で承認されました。

◆NPO 設立検討部会

開催日時：2006 年 3 月 20 日(月) 19:00～21:00

開催場所：東京都生協連会議室

主な議題：NPO 法人格取得に際しての理念の確認

NPO 法人格取得後の事業について

定款について

申請時期について

■財政体制／事務局体制の強化

◆財政基盤の強化をはかりました

内外から東災ボに寄せられる期待とニーズに応えるため、常勤事務局体制を維持していく財政の確立が、何よりも重要なため、昨年度は、2004 年度東災ボの通常年間支出(被災地支援金を除いた支出)400 万円を安定的に確立できるよう目指しました。

- ・講座／研修事業を中心にした受託事業等で 150 万円/年の確保を目指しましたが、講師派遣・プログラム提供と委託事業で 405 万 3748 円もの収入となりました。

講師派遣・プログラム提供 : 59 件

委託事業 : 3 件(計 7 回)

- ・企業などからの賛助会員費、寄付などにより 100 万円/年の確保を目指しましたが、77 万 4000 円の寄付金収入となりました。

サポーター費 : 20,000 円

新潟県除雪ボランティア活動 : 754,000 円

- ・各種助成金に積極的に申請し、事業運営費として 100 万円/年の確保を目指しましたが、162 万円の助成金収入となりました。

愛のキャンパ(運営支援) : 1,000,000 円

新潟県除雪ボランティア活動支援 : 620,000 円

・会費収入 150 万円を目指しましたが、87 万 8000 円の会費収入となりました。

52 団体 : 878,000 円

◆事務局体制の強化をはかりました

東災ボが事業を進めていくにあたり、事務局体制の強化は必須となっています。現在、一名の常勤専従職員を配置していますが、東災ボの事業が社会に認知され、期待されればされるほど、一名では限界があります。現在の常勤専従職員の配置を維持しつつ、事務局協力者の強化をはかり、場合によっては非常勤職員の配置も検討しました。

- ・事務局機能の充実のため「常勤の専従職員の配置」を維持しました。また、必要な場合は非常勤の職員の配置も検討しましたが、実現にはいたりませんでした。
- ・事業遂行のための事業協力者の強化をはかり、東災ボの事業を具体的に進めていける人材(団体)を増やしました。そのために、東災ボ事業と参加団体の事業が連携できる形態を検討し、主に委託事業にあたっては、東災ボ参加団体と連携しながら企画運営することができました。
- ・「運営委員会」および「事務局会議」を、参加団体が意見交換をできる機動的な問題解決のオープンな場にしていきました。

◆第 1 回運営委員会

開催日時：2005 年 4 月 27 日(水) 19:00～21:00

開催場所：東京都生協連会議室

主な議題：報告事項

三宅島災害・東京ボランティア支援センター活動報告

協議事項

2005 年度東京災害ボランティアネットワーク総会について

- ・事業報告について
- ・事業計画について
- ・運営委員について

◆第 2 回運営委員会

開催日時：2006 年 3 月 6 日(月) 19:00～21:00

開催場所：東京ボランティア・市民活動センターC 会議室

主な議題：報告事項

三宅島災害・東京ボランティア支援センター活動報告

新潟県除雪ボランティア活動報告

協議事項

東災ボの NPO 法人格取得について

2006 年度事業計画について

◆第 1 回事務局会議

開催日時：2005 年 4 月 18 日（月）19 時～21 時

開催場所：東京ボランティア・市民活動センターC 会議室

主な議題：三宅島帰島支援ボランティア活動中間報告
東京災害ボランティアネットワーク 2005 年度総会について
2005 年度 東京都・町田市合同総合防災訓練について

◆第 2 回事務局会議

開催日時：2005 年 5 月 16 日（月）19 時～21 時

開催場所：東京ボランティア・市民活動センターC 会議室

主な議題：三宅島帰島支援ボランティア活動中間報告
東京災害ボランティアネットワーク 2005 年度総会について
2005 年度 東京都・町田市合同総合防災訓練について

◆第 3 回事務局会議

開催日時：2005 年 6 月 20 日（月）19 時～21 時

開催場所：東京ボランティア・市民活動センターC 会議室

主な議題：三宅島帰島支援ボランティア活動中間報告
東京災害ボランティアネットワーク 2005 年度総会議事録について
2005 年度 市民による市民のための防災訓練～帰宅困難者対応訓練～について
2005 年度 東京都・町田市合同総合防災訓練について

◆第 4 回事務局会議

開催日時：2005 年 7 月 12 日（火）19 時～21 時

開催場所：東京ボランティア・市民活動センター12 階会議室

主な議題：08.29&09.01 防災訓練企画について
三宅島帰島支援ボランティア事業について
この間の講座・講習報告

◆第 5 回事務局会議

開催日時：2005年8月15日（月）19時～21時
開催場所：東京ボランティア・市民活動センター12階会議室
主な議題：08.29&09.01 防災訓練企画について
三宅島帰島支援ボランティア事業について
この間の講座・講習報告

◆第6回事務局会議

開催日時：2005年9月26日（月）19時～21時
開催場所：東京ボランティア・市民活動センター12階会議室
主な議題：08.29&09.01 防災訓練の報告
三宅島帰島支援ボランティア事業について
この間の講座・講習報告

◆第7回事務局会議

開催日時：2005年10月24日（月）19時～21時
開催場所：東京ボランティア・市民活動センター12階会議室
主な議題：三宅島帰島支援ボランティア事業について
「1.17 イベント」について
パキスタン地震について
各種講座・研修について

◆第8回事務局会議

開催日時：2005年11月21日（月）19時～21時
開催場所：東京ボランティア・市民活動センター10階会議室
主な議題：1.17 イベントについて
みやげじま<風の家>の活動について
日立製作所従業員向けボランティア研修について
各種講座およびイベント情報について

◆第9回事務局会議

開催日時：2005年12月19日（月）19時～21時
開催場所：東京ボランティア・市民活動センター10階会議室
主な議題：1.17 イベントについて
みやげじま<風の家>の活動について
NPO 法人格取得について

各種講座およびイベント情報について

◆第10回事務局会議

開催日時：2006年1月23日（月）19時～21時

開催場所：東京ボランティア・市民活動センター10階会議室

主な議題：1.17 イベント報告

みやげじまく風の家>の活動について

新潟県除雪ボランティア活動について

NPO 法人格取得について

各種講座およびイベント情報について

◆第11回事務局会議

開催日時：2006年2月27日（月）19時～21時

開催場所：東京ボランティア・市民活動センター10階会議室

主な議題：三宅島災害・東京ボランティア支援センター報告書について

新潟県除雪ボランティア活動報告について

NPO 法人格取得について

各種講座およびイベント情報について

◆第12回事務局会議

開催日時：2006年3月27日（月）19時～21時

開催場所：東京ボランティア・市民活動センター10階会議室

主な議題：NPO 法人格取得について

2006年度東京災害ボランティアネットワーク総会について 場所／議案書

各種講座およびイベント情報について

市民イベントの開催

■市民による市民のための防災訓練／1.17 灯りのつどい 開催

イベント事業を通じ、広く市民の方々に向けた東災ボとしてのメッセージを発信してきました。恒例事業となっている 9 月 1 日近辺の東京都総合防災訓練や 1 月 17 日近辺の「1.17 イベント」などのイベント事業を開催しました。これらのイベント事業では、行政や関係機関、そして企業や民間団体、市民と連携して参加・開催しました。

◆8.28 市民による市民のための防災訓練の開催

1999 年から東災ボが取り組んでいる「市民による市民のための防災訓練」を今年度も引き続き開催しました。昨年度は 8 月 28 日(日)に「帰宅困難者対応訓練」を実施しました。

別添資料配布予定

◆1.17 イベントの開催

毎年 1 月 17 日前後に全国的に開催されている「1.17 灯りのつどい」。各地の「1.17 イベント」との連携をはかり、また、同時期開催される内閣府主催の「防災ボランティアのつどい」とも連携をはかり、2000 年から取り組んでいる「1.17 イベント」を 2006 年 1 月 14 日(土)に開催しました。

別添資料配布予定

被災地支援

■新潟県除雪ボランティア活動

2005 年末から 2006 年当初に日本全国を襲った豪雪災害。2004 年の新潟県中越地震の被災地でもその被害は小さくありませんでした。

2006 年 1 月初旬、新潟県中越地震時に支援先となった小千谷市山寺地区へ、お見舞い兼視察へと伺い、現地の状況を調査した結果と、地区内住民からの要請により、1 月中旬から 3 月上旬までの期間で計 3 回の除雪ボランティア活動の実施を決めました。

1 月中旬の第一次派遣予定時に現地で雨が降り、積雪が一時的に減ったり、第三次派遣を予定していた 3 月上旬には積雪がほとんどなくなってしまうなど、若干の予定変更はありましたが、1 月下旬に第一次派遣、2 月上旬に第二次派遣と 2 度の除雪ボランティア活動を実施することになりました。

◆新潟県除雪ボランティア活動

日 時：2006 年 1 月 27 日(金)～29 日(日) 作業は 28 日と 29 日 第一次派遣

2006 年 2 月 03 日(金)～05 日(日) 作業は 4 日と 5 日 第二次派遣

場 所：新潟県小千谷市山寺地区

参加人数：第一次派遣：27 名（3 チーム） / 第二次派遣：29 名（3 チーム）

内 容：家屋周りの除雪 8 件 / 私道の除雪 2 件 / 地区公会堂周りの除雪 1 件 / 神社境内の除雪 1 件

別添資料配布予定